

「スマイルコンパス・プロジェクト（スポーツ交流）」

9月4日（水）、登坂絵莉さん、岩淵真奈さんが栗田支援学校に来校し、1日講師をしていただきました。



小学部 1～3年生



ピックレスリングとシュートゲームで交流しました。ピックレスリングでは、二人の体に付いたりリボンを取ろうと、子どもたちが全力で走って追いかけてきました。慣れてくると、片方の手で体を押さえて、もう片方の手でリボンを取ろうとするなど、工夫する姿が見られました。シュートゲームでは、岩淵さんと登坂さんが守っているゴールに向かって、ボールを蹴ってシュート！「難しいな」と話す子どもたちもいましたが、二人に優しく励まされ、思い切ってシュートをすることができました。最後には、子どもたち一人一人の首に、二人の金メダルを掛けてもらい、予想以上の重さに目を丸くする1～3年生でした。

小学部 4～6年生



ピックレスリングとボールつなぎゲームで交流しました。ピックレスリングでは、岩淵さんと登坂さんの体に付いたりリボンを取ろうと大いに盛り上がりました。岩淵さんとのサッカー対決では代表児童が岩淵さんと対戦し、キーパーの児童が岩淵さんのシュートを止めるファインプレーもありました。また、登坂さんが体の大きな男の先生を持ち上げる姿に、子どもたちがびっくりする一幕もありました。最後は二人の金メダルを首にかけてもらい大満足の4～6年生でした。

中学部



中学部の交流タイムでは、サッカー部メンバーと岩淵さんとでパス交換をしたり、登坂さんによるレスリングの実演を見学したりしました。また、その後のトークコーナーでは、「スポーツを始めたきっかけ」や「得意な技」等について生徒から質問が出るなどやりとりを楽しみました。

高等部



高等部は、トークイベントの中で、登坂さんのレスリング技を見たり、岩淵さんとリフティングをしたりしながら交流しました。一緒にリフティングをしたサッカー部の生徒は「メダリストと一緒にサッカーができたことは一生の思い出になりました」と感想を発表しました。最後のお二人からの言葉では、「仲間を大切にしてほしい。時には周りの人に頼ることも必要。周りに困っている人が居たら助けてあげてほしい。物事を全力で楽しんでほしい。社会に出ても、挨拶、感謝の気持ちを伝えることを忘れずに頑張してほしい。」との話がありました。今後につがる充実した時間になりました。